

じゅうたく していかりしやはんたい  
**住宅の指定管理者反対**  
 どうろ こうじ さいかいはんたい  
**道路工事再開反対**

や お し ただ せ つ め い かい おこな  
**八尾市は直ちに説明会を行え**

だ ん かい い か も よ  
**12・10こん談会に怒り持ち寄ろう**

ご ご じ や お き た い り ょ う ま ち あ い  
 12月10日(土)午後2時八尾北医療センター待合



12月10日230万人が決起した韓国。ゼネストで決起する民主労総・鉄道労組の闘いを軸にパククネ打倒に突き進む

八尾市の勝手にはさせない！指定管理者反対

西郡や安中の市営住宅に住んでいるみなさん、八尾市は、12月議会に「議案第80号八尾市営住宅等の指定管理者指定の件」を提案しました。住民への説明や了解もなしに、一方的に市営住宅の指定管理者を決め、来年4月から実施を強行しようとしています。断じて許すことはできません。

「いつたい誰が認めたというのだ！私たちが指定管理者反対署名で団地を回つたら、「指定管理者つてなに？」、「説明会なんかあったの知らん」、という人がほとんどです！八尾市がやった「説明会」に参加したという人を見つけて話を聞いたら、「参加者はたった三人」

「こんな説明会やない」と参加した人が怒っています。八尾市は、住民の怒りを恐れ、本気で説明会をする気がない。アリの会「でごまかし、ウソとだましで強行しようとしているのです！」

八尾市は、直ちに全住民を集めた説明会やれ！住民の声を聞け！勝手に議会で決めるな！

住民追い出し、団結破壊を許さない！

全国水平同盟西郡支部、八尾北労組など4団体が10月12日に「指定管理者導入の撤回と八尾北医療センター東側道路の工事再開反対」の申入れを行いました。これに対し11月2日付「田中市長の回答書」が送られて来ましたが、そこには、指定管理者導入について、「入居者の高齢化や建物の老朽化などの課題に伴う多様な入居者のニーズに迅速に対応し、入居者の安全で安心に暮らすことのできる環境を確保し、より効果的な施設管理を図ることを目的として取り組みを進める」と、あくまでも指定管理者導入を強行すると言っています。これだけの理由だったら、八尾市が直営でできることです。

指定管理者導入攻撃は、第一に、住民追い出し・団結破壊攻撃です。「八尾市営住宅機能更新計画」と一体で、西郡の住民追い出しと血の入れ替え（住民の入れ替え）、更地化攻撃です。そもそも西郡や安中の市営住宅は、戦後の労働者の「生きさせろ」、「住宅よこせ」の闘いと一つになって、住民が何度も東京に行き、自分たちの土地建物も提供し、市役所に座り込んで苦勞して建てた誇りと団結が詰まった住宅です。「助け合って生き



**全国水平同盟西郡支部**  
**八尾北医療センター労組**  
**関西合同労組大阪東部支部**

全国水平同盟に入ろう  
 連絡先：八尾市高砂町3-85-6  
 電話・FAX：072-991-7729  
 ブログ <http://nisigoorisibu.cocolog-nifty.com/blog/>  
 Eメール: zensuidoumei@yahoo.co.jp 2016/12/7発行



る共同体」です。だから他の公営住宅にはない子どもへの「住宅の承継権」があり、家賃を滞納しても簡単には追い出しを許さなかった。

しかし、「命よりも金もうけ」第一の新自由主義を推進する八尾市にとって、このような西郡の歴史と権利を切り棄てたいのです。そこで八尾市は、「住宅追い出しのノウハウを持つている」大手不動産業者に管理を丸投げし、市営住宅の契約を「一般的な賃貸契約」に解消し、家賃三ヶ月滞納したら無慈悲に追い出します。住宅管理課は「住宅追い出しに特化」と言っているのです。

### 爆発する住民の怒りの声

「私は病気で働けず家賃を滞納することがあった。家賃滞納三ヶ月で追い出すなんてとんでもない。住宅追い出しは死ねということや」

「昔住んでいたところを市に売って住宅に入った。だから市が民間にまかせるのはおかしい」

「住宅や保育所は市に座りこみして建てた。市が責任を持つべきや。市は住民の生活を守る責任がある」

「指定管理者になんでするんや、おかしい。地区協が『うん』というたんやろつ」

「民間になったら結局金目当てになり業者と結託して追い出してくる」

### 八尾北東側の道路工事再開許すな

第2に、道路建設は命と団結の砦である八尾北医療センターつぶし、分断・更地化攻撃です。11月2日付回答書において、「道路は、大阪府都市整備中期計画（案）において継続事業と位置付けられております」と八尾市としてやるのかやらないのかを隠した回答です。許せません。



150人以上が集まった八尾北秋の患者交流会。律動をおどる八尾北労組。八尾北労組と住民の団結が深まった

道路が作られたら、外環から膨大な車が入ってきて、地域は分断されます。だから16年前に八尾北労組を中心にもんが反対運動に立ち上がり工事中止に追い込んだのです。

大阪府土木課も「既に東大阪市方面の建設計画は中止しました。八尾市・西郡の地域については、住民の声で決めたらいい」と言っています。

住民は圧倒的に建設反対です。

「こんな道路ができたら八尾北医療センターより東側の住民や高砂住宅の住民は、八尾北に行けなくなる」「車が渋滞を避けて村の中を走り回り、事故が増える。」

### 八尾市は説明会開き住民の声を聞け

指定管理者や八尾北東側の道路ができたなら、地域が分断・更地化され、変わってしまう。地域全体の問題です。指定管理者と道路工事に圧倒的な住民の反対の声が上がっています。この声を恐れて、八尾市は説明会を開いていないのです。しかし八尾市には、説明責任がある。八尾市は直ちに説明会を開け、住民の声を聞け！議会での議案の採択を中止しろ！

### 現業民営化反対！総非正規化反対！

第3に、現業民営化攻撃であり、八尾市職員の解雇・総非正規化攻撃です。この指定管理者導入による住宅管理課職員6名削減（半減）は、この先取りです。八尾市800事業

丸ごと民営化攻撃の新たなエスケーションであり、安倍政権が進める競争と改憲、労働法制改悪と一体の攻撃です。2018年を前に、八尾市でも労働契約法の「無期雇用転換ルール」を逆手に取った非正規労働者の解雇攻撃が始まっています。八尾市で働く労働者とその家族のみならず、一緒に団結し、民営化・総非正規化絶対反対で闘いましょう。

韓国では、労働改悪を進めるパククネに対する民主労総・鉄道労組による50日を超えるゼネストを軸に、12月3日には230万人を超える闘いが燃え上がっています。日本でも民主労総と連帯し、国鉄闘争軸に安倍打倒のゼネスト決起を作りだそう。指定管理者反対、道路反対は安倍打倒の闘いそのものです。八尾北労組を軸に絶対反対で闘えば勝利できます。